

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                  |   |               |
|----------------|------------------|---|---------------|
| ○事業所名          | ななつば（放課後等デイサービス） |   |               |
| ○保護者評価実施期間     | 令和8年 2月 9日       |   | ～ 令和8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)           | 4 | (回答者数) 4      |
| ○従業者評価実施期間     | 令和8年 2月 3日       |   | ～ 令和8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)           | 9 | (回答者数) 8      |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 9日       |   |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 人的要素(マンパワー・人的資源)                           | 保育士・看護師・助産師・PTなど様々な専門職を配置し、ひとりひとりに寄り添った療育を提供している。                            | それぞれの専門職の知識、手技をスタッフ間で伝達・共有し、より良い療育につなげていく。                         |
| 2 | 制作活動                                       | 保育士や児童支援員が主体となり、事業所内の飾りつけや雰囲気作りをしている。個性や個々に合わせた方法で活動を行っている。                  | 四季などの季節感や、一年の行事を日々の活動などに取り入れる工夫をしながら、誰もが楽しみながら「できる」を意識した支援を行っている。  |
| 3 | 個別支援計画や療育記録                                | 5領域を柱とし、アセスメントやモニタリングを丁寧に行い、日常や社会生活に添った、支援計画を立案している。毎日の様子を詳細に記録し、振り返りを行っている。 | アセスメントやモニタリングについてスタッフ間で、意見を出し合い、また保護者からの意見を聞いたり利用児本人のニーズの把握に努めていく。 |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等     | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|-----------------------|---|
| 1 | 個別スペース確保が困難                                | ゾーニングや場面転換の為の個別部屋がない。 | カーテンレールの使用や、スペースを有効活用出来るように検討を行っている。  |
| 2 | 第三者の介入が少ない                                 | 資金面、スタッフ確保、スケジュール調整。  | 今年度夏期に、他事業所のスタッフと協力し、保護者様参加のプール貸し切り企画を行った。試験的な実施であり、重心・医ケア児のみの対象であった為、今後もイベントを検討していく。 |
| 3 |  |                       |   |